

システマティック・レビューにおける文献検索

－2014年のPubMed・医中誌 web 索引データより－

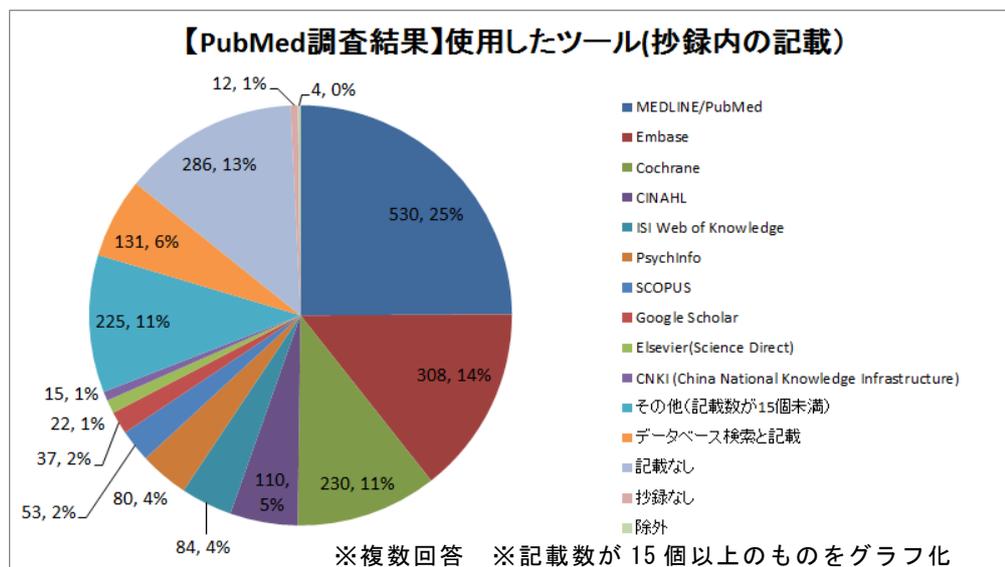
眞喜志まり

東邦大学習志野メディアセンター

背景と目的：システマティック・レビュー（以下、SR）には統一された世界的な定義はないが、医学領域で代表的なものの一つとされるコクラン共同計画によると、ある特定のリサーチクエスチョンに答えるために、すべての経験的エビデンスをあらかじめ定めた基準で網羅的に収集し、評価し、統合する方法とある*1。SRの最初のプロセス、エビデンスの網羅的収集として、文献データベースなどの各種情報源を利用した文献検索をテーマに応じて行う必要がある。本研究ではSRにおける文献検索がどのようなデータベースを使用しているか、現状を探ることを目的とする。

方法：PubMedと医中誌Webを用い2014年発行分でSRを行った研究の抄録データを検索した。PubMedについては、検索結果15817件（2015年3月27日検索）のうち、Publication dateでソートした結果から920件を抽出し調査した。

結果：検索に利用されたデータベース（以下、DB）名の記載があったものは494件（約54%）、DB名の記載がなかったものは286件（約31%）であった。記載があったDB名の集計結果は以下のグラフの通りである。MEDLINE(PubMed含む)が最も多く、530件（約25%）、次いでEmbaseが308件（約14%）、Cochrane、CINAHLと利用されていた。1つのSRにおけるDBの併用例としては、MEDLINE(PubMed含む)、Embase、Cochraneが多かった。



考察：引き続き調査を進め、医中誌WebとPubMed追加分も含め当日会場で発表したい。

[参考文献]*1 唐 文涛ほか. 診療ガイドラインとシステマティック・レビュー. 薬理と治療. 2014, 42(3), p.189-197.